

事例検討をしよう part1

～ ①事実を整理 ②なぜ？を考える～

福島県特別支援教育センター



1

①事実を整理	気になる行動(主訴)を共有し、対象となる子どもの情報を整理する
②なぜ？を考える	子どもの思いや考え、認知特性や学習環境などから、困難さの背景・要因を考える

Part1の目的
事例検討を通し、子ども理解を深める

3

基本的な進め方(例)

事例検討の目的・主訴の確認

事前の情報収集(実態把握シートや行動観察より)

①事実を整理	気になる行動(主訴)を共有し、対象となる子どもの情報を整理する
②なぜ？を考える	子どもの思いや考え、認知特性や学習環境などから、困難さの背景・要因を考える
③指導・支援の検討 役割分担	子どもの得意を生かし、苦手を支える 指導・支援のアイデアを出し合う ⇒役割分担をする
④実施・評価・改善	指導・支援を実施し、その評価をしながら必要に応じて改善する

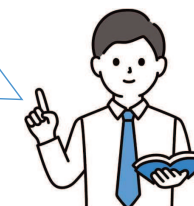
2

進める際のポイント【話し合いルールの一例】

【全体を通して】

- ★教師の主観ではなく、本人はどう思っているのか、本人の実態や認知特性に合っているか等、子どもを中心に据えた話し合いを意識しよう
- ★批判的否定的な発言をせず、互いの意見を尊重しよう

話し合いは、雰囲気がとても大切です。
発言や考えを否定する雰囲気があると、
良い意見が出されにくくなります。



4

①事実を整理

事前の情報(実態把握シート、行動観察等)を踏まえ話し合う

事例検討ワークシート

主訴

苦手(困難さの背景・要因)

得意

学びにくい学習環境(困難さの背景・要因)

学びやすい学習環境

指導・支援のアイデア(得意な力を生かす指導の工夫、苦手さを補う指導上の配慮等)

○さんの得意や苦手は？
・好ましい学習環境は？
・授業や生活の様子は？
・できるときの状況は？

【話し合いのポイント】

認知特性等について、それぞれチェックしたものを出し合い、ずれがある場合にはなぜそのように見取ったのか情報をすり合わせていきましょう。

認知・環境面について、苦手・得意を整理しましょう。→事例検討ワークシートへ

5

②なぜ？を考える

主訴の背景・要因となる認知特性と学習環境を推察する

事例検討ワークシート

主訴

苦手(困難さの背景・要因)

得意

学びにくい学習環境(困難さの背景・要因)

学びやすい学習環境

指導・支援のアイデア(得意な力を生かす指導の工夫、苦手さを補う指導上の配慮等)

・子どもの困難さを改善するにはどんな力が必要かな？
・環境の影響は？

【話し合いのポイント】

主訴の課題を改善するにはどのような力(認知処理の視点)が必要か、考え、背景・要因を推察していきましょう。→事例検討ワークシートに加除修正する。

6

本人にとってわかる・できる環境づくりのためには、まずは子ども理解を深めることが大事！

本人をよく観ること(行動観察)

本人の認知特性や学習環境の影響による得意・苦手の把握



一人一人に応じた指導・支援へ

7



8